

ることが推測されます。
問 子育て支援への具体的な取り組みはどうか。

市長 次世代育成支援行動計画を本年3月に策定しました。具体的には、保育園の待機児童の解消を図るため、新たに私立保育園の建設、時間外保育時間の延長、休日保育の実施、子育て支援センターの増設等、子どもを持つ親が安心して働ける環境を整備したい。

元気で明るい

長寿社会の創造

問 本市における高齢化の現状とその推移はどうか。
市長 平成17年4月1日現在、本市の高齢化率は14.3%で、千葉県の高齢化率は16.9%です。

また、現行の老人保健福祉計画では、平成19年度の高齢化率を14.8%と推計しています。

問 持続可能で安定的な公的年金制度についてどのようにつなげ、本市としてどのように取り組んでいくのか。
市長 国民の安定した生活を支える重要な柱として非常に大きな役割を果たしている。年金制度の意義や役割について市民に理解を深

めていただけるよう積極的にPRを図っていききたい。
問 高齢者の社会参加と生きがいづくりは本市としてどのように取り組んできたか、また、今後どのように取り組んで充実に図るのか。
市長 高齢者の生きがいづくりや社会参加の機会となる老人クラブ活動を支援しており、現在老人クラブは年間を通じ各種事業を展開している。社会参加の機会と、生きがいと自らの健康を自ら守るための健康づくり等を積極的に支援していきたい。

問 中高齢者の再就職援助等にとり取り組んできたのか、また、今後どのように取り組んでいくのか。
市長 中高齢者の経験や培った能力を生かすことは、中高齢者向けの職種の開発や就業機会の確保につながり、ひいては中高齢者の生きがいづくり、健康づくりにつながると思います。中高齢者からの就業に関する相談等は、シルバークリスタールで取り組んでいます。
問 平成15年5月施行の「健康増進法」に本市としての関わり合いと、今後の具体的な取り組みはどうか。

市長 市民の健康づくり施策をより効果的なものとするため検査機関及び、各医療機関との連携のもとに健診の精度管理を行い、また健診結果に基づいた生活習慣の改善のための栄養士による栄養指導や、保健師による保健指導体制を強化するとともに、市民の健康に対する自覚と健康の保持・増進を支援していきます。
なお、健康増進法の施行に伴う受動喫煙防止対策として、本年7月から庁舎内完全禁煙を実施します。

生涯学習の振興

問 本市における生涯学習の普及啓発にどのように取り組んでいるのか。
教育長 「生涯学習ガイド」を利用いただき、生涯学習の拠点となっている中央公民館の「こうみんかんだより」図書館の「図書館だより」の他、市の広報やホームページにも、学習機会等の情報提供を行っています。

問 本市として生涯学習の環境充実にどのように取り組んできたか、また、今後どのように具体的に取り組んでいくのか。
教育長 千葉黎明高等学校

開放講座「ガーデニング教室」に加え、昨年度から「パソコン教室」を実施しており、中央公民館、図書館では大人向けの「地震講座」、子ども向け「土曜子ども講座」、「夏休み子ども科学講座」等、年齢層等を考慮した幅広い講座や教室の提供に努めています。

本年度を初年度とする、八街市総合計画2005」と整合性を図りながら、平成11年3月に策定した「八街市生涯学習推進計画」の見直しに取り組めます。

誠和会

山本邦男
山本義一
古川宏史
北村新司
横田義和
中田眞司

個人
質問
古川 宏史

行政問題

問 市内全域において各区加入への取り組みは如何か。

市長 平成17年4月1日現在の区への加入率は、世帯数で約64%です。基本的に

区は自治組織ですので、市が加入を強制することはできないものと考えています。が、地域としての共通課題を解決したり、レクリエーション等を通して、融和や親睦を図っていくためには、多くの方々の参加と協力が必要と認識しています。転入された方に市民課窓口で区への加入を進めるパンフレットの配布を行ったに区への加入を働きかけていただくようお願いをしていくところです。

土づくり対策事業
問 種子配布の周知方法は如何か。
市長 農家組合連合会を通じて周知していますが、連合会未加入の方には、連合会加入者の方から地区の農家の方に情報を伝えていただき、個人での申し込みを受け付けていますので、このような方へは農家組合連合会へ加入をしていただくことを望んでいます。

問 配布種子の種類を増やすよう望むが如何か。

市長 現在はライ麦、エン麦といった春先の砂ぼこりに効果があるものを選定し

ているところですが、他の種類についても同様の効果が得られ、多くの方の希望があれば検討したいと考えています。
問 種子の配布実績と要望が多い場合は予算を増やす考えは如何か。
市長 本事業が多くの方に理解され、希望者が増えることを見込み平成17年度は、220袋、4千400kgの種子の配布を予定していますが、不足する場合は、補正により対応し、多くの方に協力をしていただきたいと考えています。

公共残土の有効利用
問 残土条例施行後において貴重な資源として捉えることを望むが如何か。
市長 建設発生残土は、貴重な資源と考えており、有効利用を図るため、優良農地を形成する事業を平成11年度から実施し、既に公共建設工事の経費削減を図っています。

問 千葉県では里山の保全整備及び活用の促進に関する条例が制定されたが、八街市としてはどのように捉